

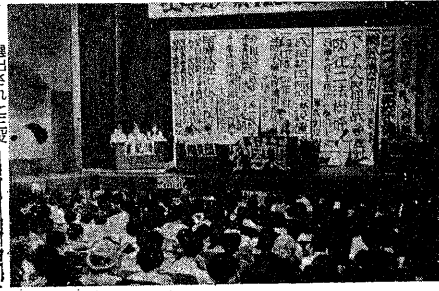
革命

37号 2頁 20円
毎月1日・15日発行
発行所
東京都文京区本郷2-16
14号革命ビル
現代社
電話(内線)7-987
東京(外線)5-4258
編集長 山本 白舟
印刷所
6ヶ月12回送別共300円

万國の労働者団結せよ！
日本社会主義青年同盟
学生運動協議会解放派

11月→70年6月 安保一大攻防戦勝利をめざし 全国反帝学評大会 全国共闘結成大会に総結集せよ！

歴史的な全学連二〇回大会 を圧倒的にかちとる 一五二天学、三八八自治会、二千八百名を結集し



委員長 石橋(一)早大 一政
副委員長 河内富爾(関学大)
書記長 狭間嘉明(九大文)

全学連二〇回大会は、歴史的な意義を帯び、全学連の発展と、学生運動の前進を期して、一五二天学、三八八自治会、二千八百名を結集し、大成功を収めた。この大会は、全学連の歴史の中で、最も重要な大会の一つとして、後世に語り継がれるべきである。

反ファシズム闘争として裁判闘争を闘い抜け！ 一東大分離裁判紛争の更なる前進の為に 一弾圧対策部

東大分離裁判紛争は、単なる学問上の問題ではなく、反ファシズム闘争の一環として、我々が闘い抜くべきである。この闘争は、我々の権利を守り、社会の正義を回復するために、絶対にやらなければならない。

全学連二〇回大会の開催地は、東京の某大学であった。この大会には、全国各地から多くの学生が参加し、活発な議論が行われた。大会の成果は、全学連の結束を強め、今後の活動に大きな力を与えることとなった。

九・五全国共闘結成総決起集会に
パレードの中から総結集せよ！
この集会は、全国共闘の結成を期して、大規模なパレードが行われた。参加者は、街頭で演説を行い、社会の注目を集めた。

社青同東京地本第10回大会報告
この大会は、社青同の活動を報告し、今後の活動方針を決定した。参加者は、活発な議論を行い、団結を深めた。

反安保労働者研究交流集会
この集会は、労働者の権利を守るために、学問的研究と実践を結びつけることを目的として開催された。

- 8.6 反戦政治集会
- 8.19 全都反帝学評総決起集会
- 8.21 渡航制限撤廃請海闘争
- 8.22 第三回全国反帝学評大会
- 8.29 31 反安保労働者研究交流集会
- 9.5 全国共闘結成大会

産協線貫徹のための大半法
この法は、産協の活動を促進し、労働者の権利を守るために制定された。

反帝学評、単独で国会へ進軍
反帝学評は、単独で国会へ進軍し、社会の注目を集めた。

この大会は、全学連の歴史の中で、最も重要な大会の一つとして、後世に語り継がれるべきである。

